

第4学年1組 算数科学習指導案

令和 7年 6月 5日 (木) 第2時限 場所 4年1組教室

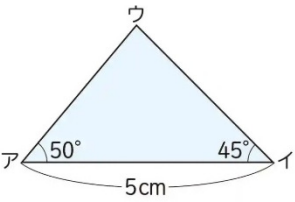
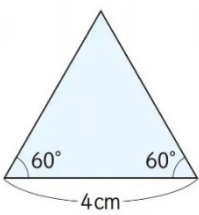
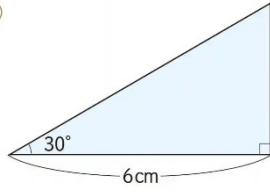
1 単元 角とその大きさ (本時7/8)

2 本時の目標

角のかき方を使って、三角形を作図することができる。

(知識・技能)

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (6)	<p>1 前時で学習した角のかき方を復習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辺をかく。 ・分度器の中心と辺を合わせる。 ・かきたい角度の目もりに点を打つ。 ・辺のはしと打った点を結ぶ直線をひく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が正しくかくことができるように、手順を一つ一つ確認しながら一緒にかき進めるよう促す。 ・角のかき方の手順をいつでも確認できるように、手順を板書する。 ・できた角を見て、どんな形に似ているかを問う。
課題 (2)	<p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <p style="font-size: 1.2em;">角のかき方を使って、三角形のかき方を考えてかこう</p>	
展開 (27)	<p>3 <u>三角形をかくとき、どのような順番でかくとよいかを考える。(丸自)</u></p> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・角のかき方を使ってかけばよいのかな。 ・ウの点はどうしたらよいのだろう。 <p>4 考えた手順で三角形をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、直線アイを引こう。 ・次に、角アの50度をつくろう。 <p>5 三角形のかき方を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辺をかいてから二つの角度をかいた。 ・二つの角度をかいたら直線が交わって三角形ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問「<u>三角形をかくときに、どのような手順でかけばよいですか。</u>」 ・「まず」「次に」などの手順を表す言葉や箇条書きで手順を書くように促す。 ・手順を書き出せない児童には、角のかき方を使うように助言する。 ・かき方の手順が分かりやすいように、言葉だけでなく、図形も黒板に貼付する。 ・正しく三角形がかけているか確認するためにチェックシートを用意し、児童が確認できるようにする。 ・「直線」「交わった点」などの算数用語が児童の意見から出たら、色チョークで板書する。 ・三角形がかけたら、長さや角度を記入するように促す。
終末 (10)	<p>6 <u>角のかき方を使って三角形をかいて、かき方の説明をしよう。(花丸自)</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>①</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②</p>  </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・発問「<u>三角形をかいて、かき方の手順を説明しよう。</u>」 ・三角形をかいてから、かき方の手順の説明を書くようにすることを伝える。 ・手順を表す言葉や箇条書き、「直線」「交わった点」などの算数の用語を使って三角形のかき方を書いている児童を称賛する。 ・三角形がかけたら、チェックシートで正しくかいているかを確認するように促す。 ・三角形をかき終えたら長さ、角度もかいて

	<p>・まず、4 cmの辺をかく。つぎに、左側の60度の角をはかって点をうって、点と辺のはしを結ぶ。右側の60度も同じように点をうってむすぶ。最後に、長さや角度をかき入れる。</p>	<p>あるか確認するように助言する。</p>
--	---	------------------------

4 評価

- ・三角形のかき方の手順を理解し、正確に長さや角度を測って作図することができたか。

(活動の4、6のノート、発言から)